

H 29 年度第 2 回動物実験委員会議事録

1 日 時 平成 29 年 7 月 14 日 (金) 15 時 30 分～15 時 55 分

2 場 所 研修情報センター CR 4

3 議 題

1. 実験の申請について

『アスピリンが皮膚のバリア機能に及ぼす影響と経皮感作を促進する可能性
についての検討』 申請者：杉山 皮膚科医師

2. 情報公開について

4 参加者 委員長 (本荘臨床研究部長)

委員 (小田嶋副院長、岸川アレルギー科医長、本村小児科医長、
吉澤リウマチ科医長、北本循環器内科医長、丸田管理課長)

以上、総計 7 名

議事 (管理課長)

【議事概要】

1. 実験の申請について

『アスピリンが皮膚のバリア機能に及ぼす影響と経皮感作を促進する可能性についての検討』 申請
者：杉山 皮膚科医師

申請者) 動物実験計画について説明 (研究目的、概要、研究計画と方法等)

委員長) 何か質問等はありませんか。

委員) 実験のシェーマについて説明をお願いします。

申請者) ならし期間としてアスピリンを 1 週間前に投与し、実験開始前に採血を実施します。
その後 1 週間に 3 回 0.5%SDS+500 μ gHWP を貼付し、4 日間休止を 4 週間実施予定です。
その 1 週間の中で採血を 2 回実施します。採血量は週に 2 回ということから少量 (0.05ml) で
行います。
最後に解剖を行います。

委員) 図の矢印がずれているようですが。

申請者) 修正します。

委員) グループ 1 と 3 は図でわかりますが、グループ 2 と 4 についてもわかるようにした方が良い
と思います。

申請者) 図を二つに分けて作成します。

委員) 匹数ですが、優位差がでるぐらい準備しておいた方が良いと考えますが5匹ずつで大丈夫ですか。安定して検体が同じように反応ができれば5匹でも良いと思いますが、4群で行いますので。ギリギリで出して、後で追加が必要な場合は再度申請が必要となりますが。

申請者) 10匹あったら良いと思いますので、変更します。

委員) 採決の際の苦痛度はBでよろしいですか。

申請者) 確認します。

委員) パッチテストの貼付部位をサージカルテープで固定することは経験上難しい気がします。また、テープを巻いた状態で数日おくので苦痛度はCではないでしょうか。

申請者) 太めのサージカルテープでぐるりと巻くことで対応したいと考えます。また、苦痛度はCに変更します。

委員) テープの件はしっかり準備をして実施した方が良いと思います。

委員長) 指摘があった、図(シェーマ)の追加及び匹数の変更と苦痛度の訂正をするということで、承認でよろしいか。

委員) 一同承認

2. 情報公開について

(委員長) 情報公開項目として、規程、自己点検および評価の結果などがある。(NHOから調査あり) 当院においても、規程、教育訓練実績の状況、委員名簿が現段階で公開が可能であり、今後公開の準備を行っていきたい。委員名簿を公開することから委員の皆さんに承諾を頂きたい。また年度末には、自己点検および評価の結果を、実験を行った先生方に提出してもらい、公開することになります。他病院のホームページを参考にして、今年度中にホームページに掲載をしたいと思います。

委員) 一同了承

－ 以 上 －